

琵琶詩吟名匠録

- 日本琵琶楽協会 事務所 東京都港区西新橋一丁目...

琵琶詩吟本部理事

- 西村錦風 琵琶詩吟本部理事 詩吟光吟会本部会長...

錦心流大館派教授

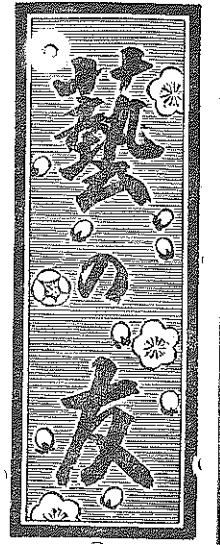
- 前田田月 錦心流大館派教授 東京都杉並区成田東三丁目...

薩摩琵琶

- 古家絃風 薩摩琵琶 東京都葛飾区立石一丁目...

錦心流琵琶教授

- 吉野洲水 錦心流琵琶教授 福井県鯖江市本町二丁目...



琵琶特集十一月号

一水会本部主催、二十余支部参加 錦心祭全国大会琵琶演奏会

十一月十二日、銀座ガスホールで

古典薩摩琵琶の演奏法に新風を吹込み、歌を主体の調節を創案され、錦心流を宣言された永田錦心師が昭和四年他界された...

錦心流の支柱 高徳の人格者 小山田賞水師

国民精神の伝統芸術琵琶を以て情操教化に尽されること数十年、温厚篤実の高潔さは更に...

邦楽伝統芸術の真技に酔う聴客 弘沢師の労果 名流会の成果

邦楽伝統芸術界の最高峰の名人連出演の諸芸の真技を聴く名流会の公演が、既報の如く九月二十六日午前十一時半より琵琶の義侠人...

山崎紅水師の榮譽

札幌琵琶界の元老で琵琶復興の功勞者である山崎紅水師の第二十六回全道琵琶大会が好天に恵まれ盛大に催された...

昭和四十八年十一月一日発行

編集発行 鈴木普士

東京都練馬区豊玉北五ノ一 電話(九九一)〇三三三番

芸の友社

関西橋会の発会 琵琶大会は満員

筑前琵琶日本橋会傘下の関西の
弾奏家に組織された関西橋会の
発会披露琵琶演奏大会が滋賀県彦
根市の市民会館ホールにて九月三
十日十一時より開催された。この
日佳備く雨天であったが多年に
亘り琵琶の名將山本旭城、林田
師の精神を能く浸透の地としてフ
ソの入場者で満員の盛況を見せ
た。演奏会は開会の辭についで
大阪の島田信二、良仁兄弟の
歌、佐伯旭城師の「衣川」を先
陣に開演され、続いて林田旭城師
門下の田部、仲川の「城山」、稲
垣、佐治の「井伊大老」、中川吉
野落「岩崎の「別れの盃」と彦根
会員の発刺たる演技が展げられ
た。大阪の島田「関ヶ原」の独奏
京都田中旭法の歌、矢吹師絃の
「禪師と政宗」、寺尾旭吉の歌
山崎師絃「茂木」、安住「曲垣平
九郎」と京阪神会員の熱技が続
いてファンを喜ばせ、彦根の古老
木旭芳（衣川）の力奏あつて式典
に移る。

壇上に橋会家元橋旭宗、事務理
事堀田旭甲、関西橋会長山崎旭
幸、相談役山本旭城、来賓彦根市
長（代理）、東京芸の友社長鈴木
譽士、日本芸能顕彰会より表章の
受賞者鈴木旭芳、林田旭城、佐伯
旭城の諸氏が並び、綴帳が掲げ
る。山崎会長の挨拶、橋会家元と
堀田事務理事の挨拶あり、彦根市
長公用にて出張中で代理社会課長

の祝辭、芸の友社長鈴木長長の祝辭
について日本芸能顕彰会鈴木長次
郎理事長の代理として鈴木社長よ
り立派なトロフィーを鈴木旭芳、
林田旭城、佐伯旭城三師へ贈呈し
て斯道へ尽された功績を表彰され
金場大拍手の裡に式は終った。

第二部の演奏も彦根組が先陣で
三浦の「西郷隆盛」。松居、矢野
「地震加藤」、樋口「石田三成」
堀川「舟弁慶」と精進の熟巧奏の
後を京都の矢吹旭城と美津女師「隅田
川」の曲で満場ファンを泣かせた。
大迫旭山「大楠山」、佐伯旭
城「鴨川の露」で中堅團將の巧技
を揮う。橋会若手の至宝彦根の名
花林田旭城「小栗栖」で芸魂の光
輝を示し全場を揺がす拍手。久徳
旭、丹生谷旭春の歌「粟津ヶ原」
は、山崎師の絃で円熟の妙味を発
揮し、最後は絃山崎旭城「都落
ち」の一曲に名人芸の牙をを示し
全ファンを恍惚させ感激の渦に巻
き込んで好評裡に五時過ぎ終了し
た。

林田師の厚意感謝

九月三十日朝六時五十分東京駅
発新幹線こだま号で彦根へ向った
本社鈴木社長は米原駅で下車、出
迎の車で彦根の会場へ臨席、同
夜は双葉荘へ一泊、翌日は林田旭
城さんの御案内で多賀大社を参拜
してより古刹西明寺を訪れ、国
宝、名園を参観、山本旭城師宅を
訪問、更に醒ヶ井の鱒養魚場を見
物、生きた鱒料理で午餐ののちな
しを受け、米原駅まで見送られ午
後三時十分のこだま号で帰京しま
す。林田師の厚情に深く感謝しま
す。

城山会の演奏会

十一月四日午後
三州俱樂部にて
絃聖と称えられた名人故吉村岳
城先生の遺業を継ぐ城山会一門の
秋の演奏会が、久振りで十一月四
日午後六時一丁目三州俱樂部に
行われた。上演曲目は舞踊編



(板谷旭師)

彼ノ矢師会盛況

大館洲風名人の中堅門下で、人
気の中心にある彼ノ矢洲友師の演
奏会が九月二十五日午後三時より
第一証券ホールにて催された。会
場には祝贈花数個が人目を引く。
演奏は加藤洲風（城山）を序演に
真泉（異国の丘）、金尾（紅葉狩）、
紅林洲紅（重賞）、中村洲心（竜
の口）と熱演が続き、宮崎洲香
（静）、山田洲鳳（横笛）、稲垣
洲玲（本能寺）と一門中の精鋭教
授組の競技でファンを拍手を呼ぶ
。来賓友吉鶴心（堅田落）で独
特の巧妙技で大衆を沸かしめ、森
洲鶴（菅公）、松崎洲陵（黎明）
の巧力演の次に来賓石坂鶴明（湖
水乗切）で鶴派の出色芸を發揮し
た。会主彼ノ矢（白虎隊）一年半
振りの公演で研修の功歴然の牙を
を示す。荒川洲帆（舟弁慶）、平
井洲誠（結梗の旗揚）、桑名洲聖
（屋島の誓）、前田洲月（月下の陣）
と洲風会本部の最高幹部連の巧技
競演でファンを拍手盛り込んで起
。最後は名人大館洲風師が「西
郷隆盛」の曲で、特色ある調節と
妙律音調で名人芸の真髓を發揮し

五六十名様までの 舞台つき和室 貸ホール

小唄、民謡、琵琶
詩吟、和風芸能
講習、小集合等
（短時間でも御利用を）
昼一時間一、〇〇〇円
夜二時間一、三〇〇円
全日午前十時より夜九
時迄
平日一、〇〇〇円
土、日、祭一、五〇〇円
冷房完備、マイク、レコー
ドテープ、湯茶、宴会の設備
完備
新宿区新宿一ノ十四ノ九
山田洲鳳
電話七三六六番
地下鉄は新宿御苑前駅（下車
三分）

洲鳳会館

十月二十八日夜十時二十分より
NHKFM「現代の音楽」で九月
十三日東京文化会館にて開いた鶴
田錦史師サイトルに於て激賞を
博した琵琶「旅」と「壇の浦」の
二曲が放送される事となった。当
日不参会者の良き参考となろう。

十月二十八日夜 鶴田師琵琶放送

録音曲を二、三曲宛上演して愛
家の参考を提供する事となり、一
般参会者の弾奏と共に本格化の研
究を進め、人道精神を高揚し尽さ
れることになった。鈴木会長の手
許には故人の永田錦心、高隆筑風
林鶴殿、藤井義次、田辺蘇川、石
川東城、池田天舟、平田旭舟、水
藤錦福師と、現存の山崎旭幸、
宇川久信、雨宮薫水、吉水錦翁、
松田静水諸師の録音曲がある。

鶴田錦史名人 欧米公演大成果



(鶴田錦史師)

世界的な大音楽家として欧米各
国での公演で白熱的人気の琵琶の
名人鶴田錦史師は、上野の文化会
館で開催のサイトルで三千聴衆
を感激させた翌々日の九月十五日
朝出発で欧米五ヶ国へ公演の旅に
立たれたが、一國で二、三ヶ所の
公演が行われつつあるが、幸に壯
健にて毎回二、三千人の聴衆より
激賞され盛んな声援を受けつつあ
ると。帰国十月下旬の予定とす。

山元錦城師リサ イタルの前夜祭

詩吟朗詠錦城流完家山元錦城師
は、第二回リサイタル開催を東京
読売ホールで行うに当り、全国よ
り上京された一門の精鋭師範格級
以上の親類と慰勞を兼ねて前夜祭
を十月九日夜六時から港区神谷町
の豊年年金会館に於て開かれ、来
賓と芸能関係者十と後援者名士十
余名が招かれ、百六十名が列席の
盛典となった。松尾城雲氏司席で
丸山城太郎城会本部役員の開会
の辭、師範代表夏秋錦穂さんの挨拶
に続いて宗家山元師のご挨拶が

あり、祝辭のトップが芸の友社長
木譽士が山元師と交誼五十年に及
ぶ師の芸道精進と内外への活躍ろ
りから詩吟両道の名人と讃えら
れるの成功を祈る」と述べた。元
NHK演芸局長で現在邦楽評論家
大島宗一氏、作詩家大野恵造氏、
都議會議員藤原鉄太郎（錦城会顧問）
の祝辭が述べられた。総本部
役員山本城嶽師範が会員一同
を代表して山元宗家へ御祝記念品
が贈呈され、財界春秋社長若本東
洋氏の音頭祝宴の盃が高く挙げら
れ開宴となった。宴半に余興とし
て一竜斎貞司の講談、北海道代表
の追分節、茨城県の城戸氏親子の
磯節、滋賀県本部長山本城嶽氏の
都々逸唄唄結婚話、広島代表の県
々尺八、九州代表その他地方名手
の隠し芸が続いて場内は頗る和や
かに明日を祝う華やか。東芝レコ
ード会社員の音頭で万歳が三唱さ
れ、盛宴は七時五十分を終った。
（リサイタル実施は
次号で報道）

愛知県本部発会 名古屋支部十年 錦城会記念大会

詩吟朗詠山元錦城宗家の錦城会
は今回愛知県本部創立と名古屋支
部十周年を記念し、千種、中村、
東海、三支部の発会を兼ね十月二
十八日正午より名古屋市民会館大
ホールに於て大会を開催される。
大会は宗家山元錦城、顧問辻寛一
日本修道館長遠藤劍峰、愛知県本
部長箕浦錦語師の首領を頭に竹
下本部長、地宗大委員長長統
轄下に行うもので、東京総本部よ
り宗家始め夏秋、山本、丸山の三
総師範、大塚、今井、松尾、城戸
金子、井口、鈴木、西川、中西、
林田の最高幹部他大家連が挙って
出場される。特別番組数題も上演
するので盛況が予想される。

富山の琵琶懇親会

人徳の紳士田中屋水師が支部長
の一水会富山支部では、秋の一泊
懇親会を九月九日富山市郊外の長

中村旭登師逝く

東京の琵琶界に筑前琵琶と鳳凰
流吟詠両道の巧技名花と定評の人
氣者中村旭登（本名トシエ）師は、東京
練馬東大泉町の峯茂義氏方に於て一
昨年来老後の静養中であつたが健
康を害し本年一月入院されて以來
治療に努めたが老衰のため九月十
四日午前五時五十分長逝された。
享年八十二歳。葬儀は十六日正午
より一時まで塚家で仏式により行
われ、靈前に生供花と弔花輪も多
く会葬者も琵琶西界関係名手の方
々も多く惜別の情を表された。法
名は「法作院釈妙融」。謹んで敬
悼し御冥福を祈る。

振興会の九月会

琵琶業普及に精魂を打込んで居
る熱血大家と高名な鈴木流泉師が
会長の琵琶振興会の九月例会は、
二十三日午後一時より新宿の洲鳳
会館にて親睦研究会として開催、
近世から現世の著名大家吹込みの

山崎名人を迎え 木下師の演奏会

筑前琵琶橋会の古参師範で、美
声と社交家で知られ、特色ある節
調で名を成した千葉県浦安町居住
の木下旭童女史は、十月十四日午
後一時より同町中央公民館に於て
詩吟、琵琶、詩舞、琵琶、舞踊の
邦楽初の公演会を開かれ聴衆二十
四番を上演されて町民を魅められ
た。この演奏会には特に来賓とし
て琵琶の名人で吟吟大和流宗家の
山崎光操師が大阪より、また東京
より松村旭童女史が参加され、会
主木下旭童師並に一門の野村旭稲
総伝、桑原、佐藤、鈴木の旭号者
以下新進花形十数名の出演であ
る。この日快晴で町内の人気を沸
し満員の盛況となり声援頻りに会
主木下師は面目を高めた。

石坂鶴朋師転居

鶴派琵琶の大家石坂鶴朋師は、
九月三十日に埼玉県川口市安行原
二五三六の三へ転居された。

